

講演会報告

グローバルコミュニケーション教育センター主催 新入生に贈る公開講演会

平成 30 年 5 月 22 日（火）、中央図書館（筑波キャンパス）2 階集会室において、筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター主催による新入生に贈る公開講演会「グローバル時代を生きるためのヒント—時代の変化に立ち向かう創造的問題解決能力を高めるために—」（講師：白山利信 CEGLOC 外国語教育部門長・人文社会系教授）を開催しました。本講演会は、2014 年度までは外国語センター主催で開催、2015 年度からはグローバルコミュニケーション教育センター主催で開催している恒例行事です。

講演者の白山外国語教育部門長は、まず、文化とは人間（の集団）が一定の時間を要して創りあげてきた多様な価値体系であることを述べ、ユニークな例を交えながらそのハイブリッド性を強調しました。また、文化理解とは当該の人々の価値観を知り認めることである点、外国語の習得は価値観の異なる世界へアクセスするための鍵である点が述べられました。そのうえで白山外国語教育部門長は、文化理解が重要である現代社会において求められる、行き詰まった状況を打ち破ることができる「創造的問題解決能力」に言及しました。精神活動の総体など創造的問題解決能力の基盤を構成する諸要素が述べられ、また、この能力を高めるために必要なこととして、言語運用能力を向上させる、外国語学習などを通じて人間や文化の多様性を尊重できる心を持てるように努力する、着眼点の重要性を意識しつつ物事を観る視点の多角化と多様化を図る、などといった事柄が挙げられました。

最後に、頭で理解したことと実際にできることは異なるという点に注意を促しつつ、講演者は、聴講した新入生に向けて、外国語運用能力の獲得は母語の運用能力を前提としていることから、母語の大切さを意識して母語による言語技術を磨き続けてほしい、巨視的思考と直視的思考の双方を働かせながら、試行錯誤を繰り返して自身の目標に近づいてほしい、とのメッセージを贈りました。

（文責：CEGLOC 特任研究員 金谷壮太）



講演する白山教授



講演会の様子